

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 6 年 3 月 19 日(2024.3.19)

【公開番号】特開 2022-170607(P2022-170607A)  
【公開日】令和 4 年 11 月 10 日(2022.11.10)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-207  
【出願番号】特願 2021-76862(P2021-76862)  
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/01(2006.01)

10

G 0 6 F 3/041(2006.01)

B 6 0 R 16/02(2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/01 5 6 0

G 0 6 F 3/041 4 8 0

B 6 0 R 16/02 6 3 0 L

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 3 月 11 日(2024.3.11)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザが視認可能な画面に対応して設けられている複数の区分されている領域を有し、前記領域において前記ユーザのタッチ操作を受付可能なインタフェース部と、ユーザの触覚または聴覚を介して伝達される振動を出力する振動部と、前記振動部を制御する制御部と、を備える情報処理装置であって、

30

前記制御部は、

前記複数の区分の区分間をユーザのタッチ操作が移動するごとに、第 1 の振動を出力するように前記振動部に指示し、

前記複数の区分の何れかの区分において前記ユーザのタッチ操作が検出されている間、所定の時間ごとに前記第 1 の振動とは異なる第 2 の振動を出力するように前記振動部に指示する、

情報処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の情報処理装置であって、

前記領域は、前記画面における水平方向または垂直方向に等間隔に設けられる複数の仮想線により区分され、

40

前記制御部は、前記領域から前記領域の外に前記ユーザのタッチ操作が移動した場合、前記仮想線を前記ユーザのタッチ操作が越えるごとに、前記第 1 の振動を出力するように前記振動部に指示する、

情報処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の情報処理装置であって、

前記制御部は、前記ユーザのタッチ操作が前記領域の外から前記領域に移動したとき、前記第 2 の振動を出力するように前記振動部に指示する、

情報処理装置。

50

## 【請求項 4】

請求項 1 に記載の 情報処理装置 であって、  
前記複数の区分の各々には、所定のシステムに設定するための設定値が対応付けられ、  
前記制御部は、前記複数の区分の区分間を前記ユーザのタッチ操作が移動することに、  
移動先の区分に対応する設定値を設定するように前記所定のシステムに指示する、  
情報処理装置。

## 【請求項 5】

請求項 1 に記載の 情報処理装置 であって、  
前記振動部は、前記インタフェース部を振動可能な振動装置である、  
情報処理装置。

10

## 【請求項 6】

請求項 1 に記載の 情報処理装置 であって、  
前記振動部は、音を出力可能な音響装置である、  
情報処理装置。

## 【請求項 7】

ユーザが視認可能な画面に対応して設けられている複数の区分されている領域を有し、  
前記領域において前記ユーザのタッチ操作を受付可能なインタフェース部と、ユーザの触  
覚または聴覚を介して伝達される振動を出力する振動部と、を備える 情報処理装置 のコン  
ピュータに、

前記複数の区分の区分間をユーザのタッチ操作が移動することに、第 1 の振動を出力す  
るように前記振動部に指示することと、

20

前記複数の区分の何れかの区分において前記ユーザのタッチ操作が検出されている間、  
所定の時間ごとに前記第 1 の振動とは異なる第 2 の振動を出力するように前記振動部に指  
示することと、

を実行させるためのプログラム。

30

40

50